



おちに 6月号

新宿区立落合第二小学校

「オリンピック・パラリンピック教育の推進」

校長 山貝 正海

過日の運動会には、大勢の方々にご参観いただきまして、ありがとうございました。皆様の大きな声援、心温まる盛大な拍手に、子ども達のやりきった満足感もいや増したことです。

今年の運動会のスローガンは「輝く太陽仲間にし 自分の限界に挑め」でした。当日、「輝く太陽」とはなりませんでしたが、程よい気温、時折流れる涼風、演技する子ども達にも、応援してくださる参観者にとっても、丁度良い天候であったと思います。暑さ対策のために用意したミストや放課後子ども広場の休息場所も使わずに済んだことは、嬉しい誤算となりました。熱心に練習に励み、運動会に向けて真剣に準備をする子ども達の心を感じた「お日様」は、「子ども達に最高のパフォーマンスを発揮させるために、敢えて程よい配慮をしてくれた。子ども達が十分に“太陽”を仲間にした証かな。」と勝手にそんな風に考えています。

さて、高学年の表現「オチリンピック Road to Tokyo 2020」は、今年開催のリオ、そして4年後の東京オリンピックをテーマに演じてくれましたが、東京都教育委員会では、平成28年4月から、全公立学校を「オリンピック・パラリンピック教育推進校」とし、「東京2020オリンピック・パラリンピック教育プログラム」の先行実施を「よい、ドン！」の愛称のもとスタートさせました。「オリンピック・パラリンピックの精神」「文化」「スポーツ」「環境」の4つのテーマと「学ぶ」「見る」「する」「支える」の4つのアクションの基本的枠組のもと、「東京ユースボランティア」「スマイルプロジェクト」「夢・未来プロジェクト」「世界ともだちプロジェクト」等を推進していくものです。重点的に育成したい資質として①ボランティアマインド ②障害者理解 ③スポーツ志向 ④日本人としての自覚と誇り ⑤豊かな国際感覚 の5つを掲げています。

本校でも、オリンピック・パラリンピック教育全体計画、及び、年間指導計画を策定いたしました。各学年、各教科・領域の指導の中に、オリンピック・パラリンピック教育の精神やねらいを位置づけると共に、「花いっぱい運動」「伝統文化体験」「福祉・障害者理解の体験活動」など、今まで取り組んできた様々な特色ある教育活動を、改めてその視点に立って、価値づけを行いました。これから、折にふれてご紹介もしていきます。保護者・地域の方々のご理解・ご支援もよろしくお願いいたします。



6月の生活目標

◎健康な暮らしをしましょう。

- ・汗のしまつをきちんとしましょう。
- ・てあらい・うがいをしましょう。
- ・ブクブクうがいを忘れずにしましょう。
- ・空気のいれかえをしましょう。



6月の行事予定



週	月	曜	行 事 予 定	放
A	6月1日	水	委員会	
	2	木	体育朝会 歯科講話 歯科指導(4年) プラレリアム(6年) SC来校	
	3	金	体力テスト SC来校	○
	4	土		
	5	日		
B	6	月	全校朝会 体力テスト予備日	○
	7	火	遠足(中学年) SC来校	○
	8	水	クラブ	
	9	木	児童集会 安全指導 遠足(中学年) 予備日 SC来校	○
	10	金	日光移動教室事前検診(6年) SC来校	○
	11	土		
	12	日	卒業アルバム配布	
A	13	月	全校朝会 日光移動教室①	○
	14	火	日光移動教室② 給食試食会 SC来校	○
	15	水	特水時程4時間授業 日光移動教室③	
	16	木	体育朝会(プール開き) 水泳指導始 小中交流会 SC来校	
	17	金	SC来校	○
	18	土		
	19	日		
B	20	月	全校朝会	○
	21	火	いっぱいあそぼうでい SC来校	○
	22	水	クラブ	
	23	木	音楽朝会 SC来校	○
	24	金	SC来校	○
	25	土	学校公開① 水道キャラバン(4年) 学校説明会 道徳授業地区公開講座(3校時・講演、4校時・授業)	
	26	日		
A	27	月	振替休業日	
	28	火	全校朝会 学校公開② 音楽鑑賞教室(6年) SC来校	○
	29	水	学校公開③ セーフティ教室(5校時) 5時間授業	
	30	木	児童集会 SC来校	○
	7月1日	金	委員会(6校時) SC来校	
	2	土		
	3	日		
B	4	月	全校朝会 保護者会(1~3年) あいさつ運動始	
	5	火	夏季施設説明会 保護者会(4~6年・若業) SC来校	

※「SC来校」とは「スクールカウンセラー」が本校に勤務している日です。

※放課後遊びのある日は右の表に○がついています。

日光移動教室**6年担任**

6月13日～15日、6年生は日光移動教室へ行きます。今年から、学習すべき内容が充実している日光に行き先を変更し、訪れることになりました。

初日は、日光東照宮をガイドの説明を聞きながらじっくりと見学します。これは今後の歴史学習に生かされます。また有名な華厳の滝も訪れます。2日目は登山を行います。日光の豊かな自然を味わいながら、宿泊場所の湯の湖から切込湖・刈込湖を通り、光徳牧場を抜けるコースを行います。登山をすることで、大きな達成感を味わわせたいと思います。3日目は、足尾銅山やその関連施設を訪れ、環境保全や持続可能な社会についての理解を深めます。

移動教室では、親元を離れ、自然の中でなければ経験できないことがたくさんあるはずですが、さらに、社会や理科に通ずるもの、集団行動での規律、友達とのかかわりなど、様々なことを学ぶことができる3日間になるよう、事前学習や事後学習も含め、指導してまいります。

はたらく消防の写生会**図工専科**

5月9日に1～3年生と若葉学級を対象に、はたらく消防の写生会を行いました。新宿消防署と消防団の方々に来て下さり、ポンプ車と消防団の車両をのびのびと描くことができました。また、質問コーナーや写生時に隊員の方々と楽しく交流し、消防活動や防災への理解を深めることもできました。

小学生の写生画では、本物を目にした感動や喜び、そこから浮かぶイメージ(力強さなど)を線の一本一本に表すことを大切にしています。作品はコンクールに出品するのでもうしばらくお預かりいたしますが、持ち帰った際には子ども達が感じた思い出を分かち合っていただけたらと思います。

レッツ！高尾山遠足！**5年担任**

5月2日(月)、5年生は高尾山へ遠足に行きました。行きは険しい道のりの6号路(稲荷山コース)を歩き、帰りは4号路を下り、ケーブルカーに乗り下山しました。事前学習では、めあてや約束を確認し、高尾山の歴史や自然について学びました。自学ノートで高尾山について調べ、登山への意欲を高めました。山道を歩く時のマナーを話し合った際には、子ども達から「他の登山客に自分から挨拶をする。」等のよい意見も出ました。

当日は、陽射しも強すぎず風の心地よい日で、木々の木洩れ日を気持ちよく浴びながら登山できました。頂上でまず見えたのは、人、人、人…。一般の方だけでなく、さまざまな小学校が遠足に来ていました。その中で他の人と譲り合うことを意識して行動できる姿が立派でした。

高尾山登山を通して学んだことを、これからの学校行事や夏季施設、日々の学習活動につなげてほしいと思います。

リタイア前にやるべきだった後悔？！**主任養護教諭**

少し前になりますが「PRESIDENT(2012.11.12号)」で、シニア層1000人を対象に「リタイア前にやるべきだった…後悔トップ20」という記事がありました。健康面では

第4位：腹八分を守り暴飲暴食をしなければよかった。

第3位：日ごろからよく歩けばよかった。

第2位：スポーツなどで体を鍛えておけばよかった。まだシニアではない私も、ドキッとしました。どれも大事だと分かっているけどなかなか…。それを続けた結果が「後悔」になるのでしょうか。そして第1位は、「歯の定期健診を受ければよかった。」だったのです。

少し意外に感じますが、とても大切で、でも忙しい毎日では優先順位をいつい下げてしまいがちなことが、上位に挙がったのではと感じます。

6月4日～10日は「歯と口の衛生週間」です。ローマは1日にしてならず。後悔をしないよう、この機会にぜひ、歯と口の健康を、ご家族みんなで振り返っていただけたらと思います。

水泳指導が始まります**体育的行事委員会**

水泳は全身運動といわれ、日頃動かさない筋肉も使い、バランス良く筋肉や運動能力を高めることができます。子どもの泳力に合っためあてをもたせ、課題を達成したり、泳ぐことや水の中の楽しさ、心地よさを味わわせたりすることができるよう指導してまいります。また、毎年教職員全員が心肺蘇生法の講習を受け、安全面にも配慮しながら取り組んでいます。授業の中では着衣泳を実施し、子ども達が川や海で溺れた時の対処法を教え、命を守ることにつなげていきます。

あたりまえは、あたりまえじゃない。**スクールカウンセラー**

だんだんと日差しが強くなり、夏日を記録する日が増えてきました。

暑くなってくるこの時期、日々の生活の忙しさも重なってイライラしやすくなる時期でもあります。普段なら気にならない子どもの行動も気になって、つい強い口調で伝えてしまうこともあるかもしれません。ダメなことをダメと伝えることも大切ですが、叱られるばかりだと子どもの自主性はなかなか伸びません。叱ることとほめることのバランスが大切です。改めて何かをほめるというのは難しいと感じますが、ほめるコツは「あたりまえにしていることをほめる」ことだそうです。

あたりまえのことをあたりまえに続けられることも、立派な能力です。ぜひ今できていることをご家庭でほめて認めていただけたらと思います。そのほめられた経験が、新しいことにチャレンジする気持ちに繋がっていきます。